様式第２号（第３条関係）

協議会会議録

<table>
<tr><td>会 議 名 称</td><td colspan="3">令和６年度 第１回伊達市地域公共交通活性化協議会</td></tr>
<tr><td>議　　題</td><td colspan="3">１　議　事

報告第１号　令和５年度歳入歳出決算について
報告第２号　令和５年度会計監査報告について

議案第１号　令和６年度事業評価について
議案第２号　伊達市地域公共交通計画の変更（軽微）について
議案第３号　令和７年度歳入歳出予算（案）について
議案第４号　愛のりタクシーの運行内容等の変更について

２　その他

大滝区自家用有償旅客運送「タキシー」の実施報告について
伊達市コミュニティバス実証運行結果について</td></tr>
<tr><td>開 催 日 時</td><td colspan="3">令和７年３月４日(火)　15:00 ～ 15:30</td></tr>
<tr><td>場　　所</td><td colspan="3">伊達市役所本庁舎２階　会議室Ａ・Ｂ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出 席 委 員</td><td colspan="3">堀井 敬太 会長、岡村 崇央 会長代理、
宇井　尚　委員、上田　平　委員、紺野 哲也 委員、髙本 克彦 委員、
長澤 直裕 委員、西崎 拓也 委員、門間 俊也 委員、水上 真明 委員、
矢内 孝昌 委員、山口 譲司 委員（代理出席）、渡部 貴志 委員
（五十音順、計13名）
※上記の他、欠席委員のうち８名から書面表決書の提出あり</td></tr>
<tr><td>所管部課名</td><td colspan="2">企画財政部企画課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公開・非公開の別</td><td>■公 開</td><td>傍聴者人数</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>□非公開</td><td>非公開の理由</td><td></td></tr>
</table>

【協議会の概要】

１．開　会（事務局：企画課長）

２．会長挨拶

３．議　事

◆報告第１号から第２号まで一括して事務局より説明
【質疑・意見交換】
なし

◆議案第１号について事務局より説明
【質疑・意見交換】
なし

◆議案第２号について事務局より説明
【質疑・意見交換】
なし

◆議案第３号について事務局より説明
【質疑・意見交換】
なし

次項につづく

◆議案第４号について事務局より説明
【質疑・意見交換】
なし

【議案の採決】

■報告第１号　　承認
■報告第２号　　承認

■議案第１号　　承認
■議案第２号　　承認
■議案第３号　　承認
■議案第４号　　承認

４．その他

（１）大滝区自家用有償旅客運送「タキシー」の実施報告について代表の宇井委員より説明

■委員
本業の傍らタキシーの運行を行っているということだが、どのような運営体制なのか。
□宇井委員
便利屋、喫茶店経営、農家など個人経営の方が多く、柔軟な対応が可能である。
基本的にはメインメンバー（３名）が主体となって活動し、それで対応できない場合は、他のメンバーの中で対応できる者が行っている。

■委員
時間外や休日も稼働できるのか。
□宇井委員
基本的には８時から 18 時までと時間を決めているが、時間外や休日でも対応可能なメンバーがいる場合は、事前に時間外料金が発生する旨を説明した上で対応している。

■会長
区間としては、どこからどこまでの利用が多いのか。
□宇井委員
大滝区内や大滝区から伊達市街までの利用が多い。白老町にも一度行っている。

■会長
どのようなニーズで利用されるのか。
□宇井委員
事故後の代車を伊達市街の自動車整備工場まで受け取りに行くのに利用されたり、大滝区内の郵便局までの移動や病院からの帰宅に利用されたりなど、様々なニーズがあった。

■事務局
事故後の利用については急遽の対応だったと思うが、そのような場合の取り扱いは定めているのか。
□宇井委員
特に定めていないが、可能な範囲で対応しようと思っている。

（２）伊達市コミュニティバス実証運行結果について事務局より説明
【質疑・意見交換】
なし

（３）路線バス（乗合バス）の運賃改定について（道南バス㈱：髙本委員）
・２月 20 日付けで北海道運輸局から運賃改正の認可を受けた。４月１日から苫小牧市内線を除く全路線で運賃改正を行う。（苫小牧市内線は既に改定済み）

次項につづく

・運賃改正の理由は、運転手の確保が難しい現状にあり、労働条件の変更（賃金･休みの増加、勤務環境の改善）に費用が嵩むため、継続的な運行を図るため運賃改正を行うことはやむを得ないと考えたものである。
・また、運賃改定に伴い、磁気式バスカード（1,000 円券、3,000 円券、5,000 円券）のうち、3,000 円券、5,000 円券のバスカードを３月 31 日で販売終了とする。今持っているバスカードについては期限を設けていないため、継続して使用することが可能。

（４）観光客の増加に伴う「白タク行為」について（伊達警察署：上田委員）
・昨今の観光客の増加（オーバーツーリズム）に伴い、いわゆる「白タク行為」が増加傾向にあり、伊達周辺（特に温泉地区）でも発生していることを情報提供する。
・警察でも取り締まり活動をしているが、これまでの手口とは変わってきており、段々と組織的になっている。現時点で伊達市内での通報はないが、「何か様子が変だ」と感じることがあれば、警察署まで連絡を頂きたい。

５．　閉　会

以上

令和６年度 伊達市地域公共交通活性化協議会

会議次第

１　議　事

報告第１号　令和５年度歳入歳出決算について　【資料１】

報告第２号　令和５年度会計監査報告について　【資料２】

議案第１号　令和６年度事業評価について　【資料３】

議案第２号　伊達市地域公共交通計画の変更（軽微）について【資料４】

議案第３号　令和７年度歳入歳出予算（案）について　【資料５】

議案第４号　愛のりタクシーの運行内容等の変更について　【資料６】

２　その他

大滝区自家用有償旅客運送「タキシー」の実施報告について【資料７】

伊達市コミュニティバス実証運行結果について　【資料８】

報告第１号

資料１

令和５年度 歳入歳出決算書

歳入

単位：円

科目	予算額 （A）	決算額 （B）	増減額 （B－A）	備考
負担金	255,000	255,000	0	伊達市支出金
繰越金	3,663	3,663	0	前年度繰越金
合計	258,663	258,663	0	

歳出

単位：円

科目	予算額 （A）	決算額 （B）	不用額 （A－B）	備考
【協議会運営等事務費】				
会議費	231,000	55,300	175,700	委員報酬及び費用弁償
事務費	24,000	5,825	18,175	振込手数料、租税公課
予備費	3,663	0	3,663	
合計	258,663	61,125	197,538	

（歳入合計）258,663円 －（歳出合計）61,125円＝（市へ戻入）197,538円

報告第２号

資料２

令和５年度 会計監査報告

伊達市地域公共交通活性化協議会財務規定第８条に基づき、令和５年度会計について監査を実施したところ、預金通帳・現金出納簿・収入調書・支出調書は確実に整理され、会計事務は適切に処理されていることを認める。

令和 7 年 2 月 17 日

監　事　　渡部貴志

議案第１号

【資料３】

令和６年度
伊達市地域公共交通計画
実施状況評価・検証

伊達市地域公共交通活性化協議会

伊達市地域公共交通計画　実施状況評価・検証シート

基本目標①

効率的で効果的な公共交通網の再構築

【施策①】俱知安伊達線の存廃検討と伊達大滝線のピーク時の路線維持

（サービス継続事業：地域間幹線系統として維持）

・俱知安伊達線（俱知安駅－伊達駅間）の廃止
・朝夕のピーク時の路線維持、利用促進

【施策②】国鉄胆振線代替バスのデマンド型交通への転換による大滝区住民の移動手段確保

（サービス継続事業：地域内フィーダー系統として維持）

・伊達大滝線の路線見直し
・デマンド型区域運行実施の検討

【施策③】愛のりタクシーへのＡＩ技術の導入による利便性・利用率向上と、それらを基にした路線バスの高効率化

・愛のりタクシーへのＡＩ技術導入の検討
・路線バスの経路・ダイヤ・車両の見直し、最適化

目的（解決すべき課題）

・多種多様な交通需要への対応
・増加する行政負担の効率化
・都市間や郊外部の移動手段の維持・確保
・愛のりタクシーの利用者・利用率向上
・公共交通全体の利用促進
・新技術の導入による利便性の向上

※伊達市地域公共交通計画P.83から、当てはまる課題を列挙したもの

計画の指標と目標値

上段：目標値　下段：現状値

達成度の評価指標	R2	R4	R5	R6	R7	R8
1) 伊達大滝線の１便当たり利用者数[人/便]	—	12	15	15	15	15
	11.4	10.9	12.3	**10.8**		
2) 大滝区デマンド型交通の利用者数[人/日]	—	15	20	20	20	20
	—	—	—	—		
3) 愛のりタクシーの愛のり率[%]	—	13.0	13.0	14.0	14.0	15.0
	12.5	17.1	18.7	**14.1**※		

※令和6年12月末時点

施策の実施状況、今後の課題・方向性

・胆振線再構築による令和４年９月30日付けの俱知安伊達線の廃止を受けて伊達大滝線の増回（増便）を行ったが、１便当たりの利用者数は前年比減となった。

・一方で、大滝区の交通手段の確保のため、地域住民主体による自家用有償旅客運送「タキシー」の運行が令和６年５月から開始され、令和７年１月末時点で５件の実績があった。

・今後、愛のりタクシーも含めた地域交通サービス全般のデジタル化に向けた検討を進める予定。また、デジタル化によって、集積されるデータを活用しながら多様な主体による連携・協働体制を構築し、市内を運行している路線バスの最適化やライドシェアの導入など、効果的な公共交通網の再構築を目指す。

伊達市地域公共交通計画　実施状況評価・検証シート

基本目標②

きめ細かい交通支援による利便性向上

【施策④】愛のりタクシーの利用説明会など、PR活動の強化

・愛のりタクシーの登録方法見直し
・利用説明会の開催、割引制度等による利用促進

【施策⑤】愛のりタクシーの対象者や運行時間の拡張など、より利用しやすい仕組みの確立

・愛のりタクシーの利用年齢制限の緩和
・運行時間の拡張による利用促進

【施策⑥】タクシー事業者に対するユニバーサルデザインタクシーの導入支援

・ユニバーサルデザインタクシーの導入費補助
・ユニバーサルデザインタクシーの取扱講習費補助

目的（解決すべき課題）

・多種多様な交通需要への対応
・増加する行政負担の効率化
・愛のりタクシーの利用者・利用率向上
・公共交通全体の利用促進
・新技術の導入による利便性の向上

※伊達市地域公共交通計画P.83から、当てはまる課題を列挙したもの

計画の指標と目標値

上段：目標値　下段：現状値

達成度の評価指標	R2	R4	R5	R6	R7	R8
4) 愛のりタクシーの利用者数[人/年]	—	9,700	9,800	10,000	12,000	15,000
	9,733	12,170	12,417	**8,134**※		
5) 愛のりタクシー利用者の小中高生の占有割合[%]	—	1.0	2.0	3.0	3.5	3.5
	—	—	—	—		
6) ユニバーサルデザインタクシーの導入台数[台]（累積）	—	4	8	12	12	12
	—	4	5	**5**		

※令和6年12月末時点

施策の実施状況、今後の課題・方向性

・愛のりタクシーの登録方法の見直しや利用説明会は実施していないが、一定の利用者数が保たれてる。

・慢性的なドライバー不足に対応するため、適宜、制度の見直しを行いながら、事業継続に取り組んでいる状況。次年度からは直近の利用実態を踏まえて、地区割の見直しを検討している。

・ユニバーサルデザインタクシーの導入支援として、令和４年度から導入等に係る費用の一部補助を行っており、タクシーの利便性向上と利用促進を図っているが、補助対象であるトヨタのジャパンタクシーは、燃料タンクが小さく使い勝手が悪いことから、令和６年度は導入が見送られた。

伊達市地域公共交通計画　実施状況評価・検証シート

基本目標③

まちづくりとの連携による地域活性化

【施策⑦】交通結節点の機能強化や周辺施設の活用などのまちづくりとの連携

- デジタルサイネージ設置の検討、協議
- 公共交通機関間の乗継性の向上
- デジタル化施策との連携深化による公共交通の利用促進
- 交通結節点周辺の施設との連携・活用による快適な待合環境の実現
- 公共交通の利用促進とまちの賑わい創出

目的（解決すべき課題）

- 公共交通全体の利用促進
- 新技術の導入による利便性の向上

※伊達市地域公共交通計画P.83から、当てはまる課題を列挙したもの

計画の指標と目標値

上段：目標値　下段：現状値

達成度の評価指標	R2	R4	R5	R6	R7	R8
7) 乗継を考慮したバス便数の維持［人/年］	—	54	54	54	54	54
	54	49	50	**39**		

➤事業者の時刻表から算出

施策の実施状況、今後の課題・方向性

- 令和６年３月から実証実験として、デジタルサイネージを市役所本庁舎１階（玄関ロビー）に設置し、バス路線の接続性や快適な待合環境の実現に向けて目指しているが、利用状況について把握するツールがなく、利用者のニーズに即した環境となっているかは不明瞭である。
- 道南バスのダイヤ改正に伴い、豊浦線及び有珠線①の廃止、その他路線の減便等の影響によって、鉄道と５～15分で接続する路線バスの便数が減少した。
- 今後予定している市内循環バスの経路見直しにあたっては、利用が多く見込まれる施設周辺に路線・停留所を配置するよう、検討を続ける。

伊達市地域公共交通計画　実施状況評価・検証シート

基本目標④

利用促進策の強化による公共交通の維持

【施策⑧】広報紙への掲載等による市民の関心を高める活動の強化

・路線バスの経路、停留所、時刻表をわかりやすくまとめたバスマップの作成の検討
・公共交通の利用促進を目的とした情報発信

【施策⑨】公共交通利用者への助成制度の見直し

・自動車の運転免許返納者等に対する公共交通利用を促す補助制度の検討

【施策⑩】体験乗車会などの実施による公共交通への理解の促進

・事業者と連携したバスや鉄道の乗り方講習会や、愛のりタクシーの体験乗車会の開催

目的（解決すべき課題）

・愛のりタクシーの利用者・利用率向上
・公共交通全体の利用促進

※伊達市地域公共交通計画P.83から、当てはまる課題を列挙したもの

計画の指標と目標値

上段：目標値　下段：現状値

達成度の評価指標	R2	R4	R5	R6	R7	R8
8) 公共交通の利用未経験の割合[%]	—	37.4	34.0	34.0	34.0	30.0
	37.4	—	33.6	—		
9) バスサービスの認知度[%]	—	30.5	35.0	35.0	35.0	40.0
	30.5	—	16.6	—		

➤胆振地域公共交通活性化協議会「公共交通に関するアンケート調査」参照

施策の実施状況、今後の課題・方向性

・現在、路線バスの利用促進と交通資源の認知度を高めるため、路線バスの経路や乗り方などをまとめた「伊達市交通マップ」を作成している。（令和７年３月末完成予定）

・運転免許返納者等の移動に対する不安を解消するため、公共交通の利用を促す補助制度のほか、誰もが移動しやすい公共交通網のあり方について、引き続き調査研究を進める。

・公共交通を身近に感じてもらえるよう、路線バス事業者と連携して乗り方講習会や体験乗車会を実施する予定だったが、豊浦線及び有珠線①の廃止や減便への対応を優先したため、令和６年度は見送ることにした。
⇒次年度以降の実施に向けて検討を進める。

資料４

議案第２号　伊達市地域公共交通計画の変更（軽微）について

〇伊達市地域公共交通計画の一部を次のとおり改訂する。

【新】変　更　案

３　計画の基本方針と基本目標

３－１　基本方針・基本目標の設定

＜中略＞

【基本目標①】

基本目標①　効率的で効果的な公共交通網の再構築

市内を運行する路線バスのうち、国鉄胆振線の代替路線である伊達大滝線・倶知安伊達線の利用の少ない時間帯は減便しながら、通学等のピーク時間は維持する、選択と集中による運行を行います。また、大滝区における日中時間帯のデマンド型交通の導入を行いながら、効率的な輸送形態について検討し、実施します。

さらに、＿＿＿＿＿＿ＡＩ技術の導入による利便性・利用率向上と、多様な主体による連携・協働により、伊達市街地における効率的・効果的な路線バスへの見直しをはじめ、「交通空白」の解消等を図ります。

■施策メニュー【サービス継続事業】
施策①：倶知安伊達線の存廃検討と伊達大滝線のピーク時の路線維持
施策②：国鉄胆振線代替バスのデマンド型交通への転換による大滝区住民の移動手段確保
施策③：＿＿＿＿＿＿ＡＩ技術の導入による利便性・利用率向上と、それらを基にした路線バスの最適化や「交通空白」の解消

＜中略＞

３－２　基本方針に係る施策

（１）基本目標①　効率的で効果的な公共交通網の再構築

＜中略＞

施策③	＿＿＿＿＿＿ＡＩ技術の導入による利便性・利用率向上と、それらを基にした多様な主体の連携・協働による路線バスの最適化や、ライドシェア導入等による「交通空白」の解消 （＿＿＿＿＿＿地域内フィーダー系統としての維持とサービス改善）
取組概要	愛のりタクシー等の機能強化、利便性＿＿向上による効率的・効果的な運行を図るため、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ＡＩ技術＿＿＿＿の導入を検討します。 また、ＡＩ技術等により集積したデータを活用しながら、多様な主体による連携・協働体制を構築し、市内を運行している路線バスの＿＿＿＿＿＿＿最適化や、ライドシェア導入等による「交通空白」の解消を図ります。
取組内容	・ＡＩ技術の導入により、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

議案第３号

資料５

令和７年度歳入歳出予算(案)

● 協議会運営等事務費 **200 千円**

① 協議会等の開催費用（委員報酬及び費用弁償） 181 千円

② 事務費（振込手数料等） 19 千円

● 協議会事業費 **16,745 千円**

① ライフモビリティ助成事業（愛のりタクシー運行等経費） 16,745 千円

合計 16,945 千円

● 歳入予算の款、項及び目の区分

款	項	目	予算額
１負担金	１負担金	１負担金	16,945 千円
		合計	16,945 千円

● 歳出予算の款、項及び目の区分

款	項	目	予算額
１運営費	１会議費	１会議費	181 千円
	２事務費	１事務費	19 千円
２事業費	１事業費	１事業費	16,745 千円
		合計	16,945 千円

議案第４号

資料６

愛のりタクシーの運行内容等の変更について

１．概要

今後、地域公共交通のあり方を総合的に検討していくため、事業主体を変更する。
また、近年の利用実態を踏まえ、地区割の見直しを行う。

２. 事業主体の変更について

伊達商工会議所　→　伊達市地域公共交通活性化協議会（事務局：企画課）

３. 地区割の見直しについて

通常便について、「関内Ｂ」を「関内Ａ」に統合し、名称を「関内」とする。

地区割及び料金表

＜変更前＞

まで＼から	中央	関内 A	関内 B
中央	500円	500円	1,000円
関内 A	500円	500円	500円
関内 B	1,000円	500円	500円

＜変更後＞

まで＼から	中央	関内
中央	500円	500円
関内	500円	500円

※上記変更により、利用料金1,000円の区間がなくなるため、「夫婦・親子割」（利用料金1,000円の区間で一緒に利用すると、１名分が半額になる制度）を廃止する

４. 会員登録料の変更について

1名 1,000円　→　無料

５. 利用者への周知について

３月下旬　会員向けに個別に案内を送付するほか、広報だて４月号などで周知
４月１日　変更後の内容で運行開始

資料７

掲載紙：室蘭民報　令和７年１月30日付け

タキシー加速に期待

交通空白地帯の伊達・大滝区

自家用車に「タキシー」のステッカーを貼り、事業の周知を図る宇井代表

新しい地域の足に注目

【伊達】伊達市大滝区で昨年スタートした自家用車有償旅客運送が、「地域住民の足」として徐々に浸透している。交通空白地である同区において、新しい移動手段として注目を集める。（奥村憲史）

実施任意団体「タキシー」（宇井尚代表、9人）が昨年5月から始めた。2022年9月で廃止された路線バス（後志管内倶知安町―伊達市）などがあり、大滝区の住民の移動手段の確保、維持を目指してきた。地域公共交通活性化協議会で料金設定などを承認。準備を進め、同団体は昨年4月に室蘭運輸支局から許可を取得した。

構成メンバー（運転手）は同区豊里で「便利屋」を営む宇井代表ら同区在住の8人と、顧問として近郊のタクシードライバー1人の計9人。運行車両は自家用車を使用。利用は大滝発着。会員制で年会費千円が必要となる。

基本料金は1キロ160円。迎車・回送時は燃料費などが加算される仕組み。例えば、伊達～大滝本町の往復乗車・待機1時間では1万2600円ほどとなる。売り上げの一部が団体に納められ、残りが運転手の報酬となる。今月27日現在で5件の利用があった。

同団体によると、2月には2件の予約が入っているという。地元「おおたき新聞」などで紹介され広く周知。宇井代表は「『地域の足』の選択肢を増やすことができた。少しずつ利用者が増えるよう使いやすい形にしていきたい。（地域交通の空白地帯がある）田舎のモデルになれば」と述べた。

予約、問い合わせは宇井代表、携帯電話080・6073・3638へ。

資料８

有珠・長和地区における コミュニティバス実証運行に関する 住民アンケート調査結果

■　企画財政部企画課企画調整係（市役所２階☎８２－３１１４）

バス事業者の運転手不足等による10月1日ダイヤ改正に伴い、一部路線の廃止や減便、運行時間の変更が行われました。特に、有珠・長和（一部）地区では、朝夕に路線バスが運行しない空白の時間帯が生じました。

これを受けて、市では交通空白の解消を図るため、期間限定でコミュニティバスの実証運行を行うとともに、住民ニーズを把握するため、対象地区にアンケート調査を実施しましたので、その結果をご報告します。

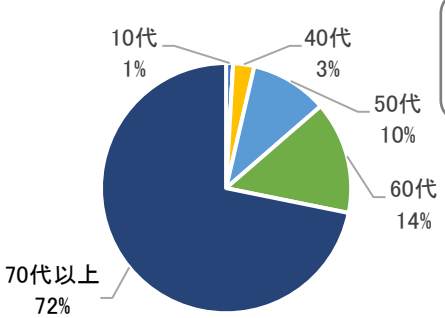
今回のアンケート調査の結果を踏まえ、今後、地域内（自宅近く）を通る定時路線で最寄りの場所から乗車できる実証運行を検討しております。
なお、乗継に関しては、既存交通事業との調整に時間を要するため、段階を踏んで検討していきます。
引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

アンケート調査の概要

項　目	内　容
調査期間	令和６年１０月１日（火）～３１日（木）
調査対象	有珠地区及び長和第10、第12の各自治会　計５６５世帯
調査内容	コミュニティバスの実証継続又は本格運行に向けた検討のため、 満足度、定時定路線に関すること、乗継に関すること、運賃に関すること等
回 収 数 （回 収 率）	１１０件（回収率：19.5%）

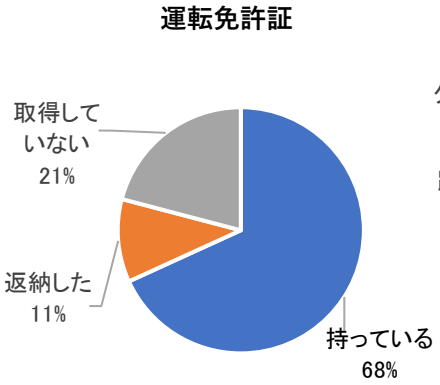
回答者の年齢構成

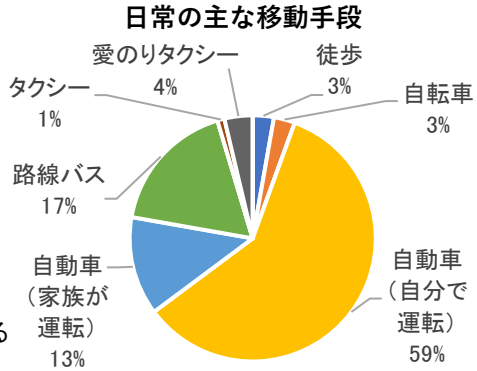
回答者うち70代以上が72%、60代が15%と、高齢の方々からの回答が多数でした。



日常の主な移動手段

運転免許証の保有や自家用車を自分で運転している方が半数以上でした。
運転免許を返納、取得していない方や、自動車以外の移動手段を利用されている方々への交通手段の維持・確保が重要です。

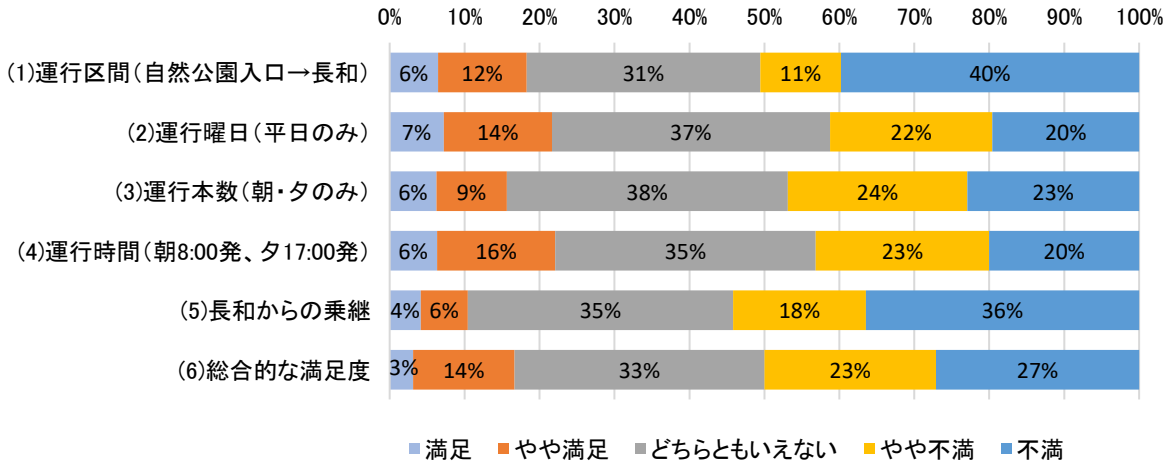




コミュニティバス実証運行に関する満足度

運行区間や長和からの乗継、及び総合的な満足度に関しては、「やや不満」「不満」が併せて50％を超えました。運行曜日、運行本数、並びに運行時間に関しては「やや不満」「不満」が併せて40％を超えました。

「やや不満」「不満」には、自宅からバス停まで遠く、高齢で歩くのが大変。乗継は不便、面倒。休日運行や日中の運行本数を増やしてほしい。などのご意見が多数ありました。

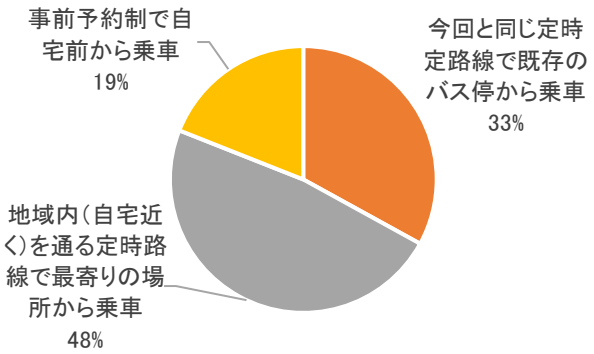


今後、コミュニティバスを本格運行する場合について

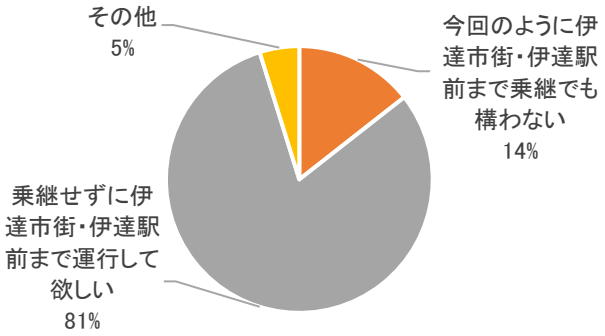
乗車方法は、「地域内（自宅近く）を通る定時路線で最寄りの場所から乗車」が48％と半数近く、また、「乗継せずに伊達市街・伊達駅前まで運行して欲しい」が81％でした。

運賃は、「乗継を継続した場合」、「乗継せずに伊達市街・伊達駅前まで運行した場合」ともに、路線バスと同額程度の回答が40％以上でした。

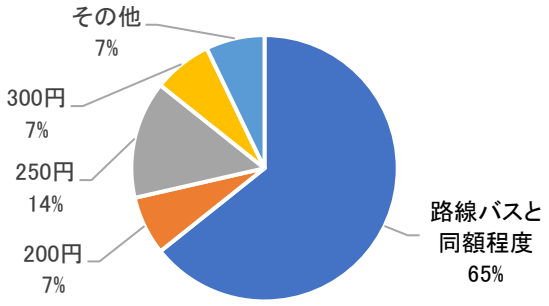
(1)乗車方法



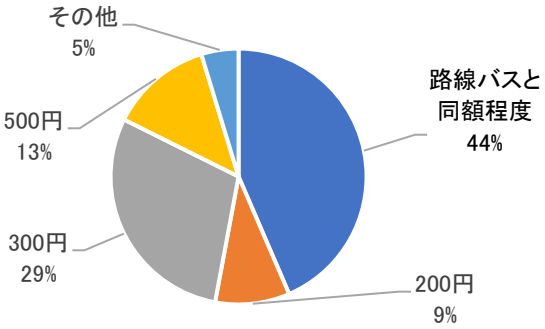
(2)乗継利用



(3)-1 乗継を継続した場合の運賃



(3)-2 乗継せずに伊達市街・伊達駅前まで運行した場合の運賃



アンケートにご協力いただきありがとうございました。